

福島第一原子力発電所3号機におけるプルサーマル実施に係る安全確認のためのプロジェクトチームの第2回会議の開催結果について

平成22年9月14日
福島県原子力安全対策課

9月10日に開催した、福島第一原子力発電所3号機におけるプルサーマル実施に係る安全確認のためのプロジェクトチームによる第2回目の会議の結果は、下記のとおりです。

記

- 1 日時 平成22年9月10日(金) 午後2時～4時10分
- 2 場所 福島県原子力センター 2階 映像ホール
- 3 出席者 小山原子力安全対策課長ほかプロジェクトチーム構成員8名、
福島県原子力行政連絡調整会議専門委員3名(岡嶋委員、寺坂委員、吉田委員) 計11名
なお、説明者として、吉田福島第一原子力発電所長等17名が出席。

4 内容

(1) 3号機における定期事業者検査実施状況について

- 定期事業者検査(6月19日～10月26日予定)の実施状況について、9月6日現在、検査総数155件中、128件が終了しており、これまでの検査結果では、全ての検査項目で経済産業省令に定められている技術基準に適合している旨の説明を受けた。
- 今後、残り27件(うち起動後12件)の検査が行われる予定である。
- 定期検査中の排気筒からの放射性物質の検出等の不適合事象3件について、具体的な対策の説明などを受けた。

(2) 情報提供を受ける監視項目等について

第1回会議(8月20日)において継続審議することとされた監視項目及び情報提供の頻度について、東京電力(株)から以下のとおり提案があり、内容について審議した結果、原案(※)通り了解した。

項目：①停止余裕、MOX燃料、ウラン燃料双方に係る②最小限界出力比、③燃料棒最大線出力密度及び④燃料集合体最高燃焼度の4項目(※)

頻度：原則として、①停止余裕については、原子炉起動前までに結果を提供する。
②最小限界出力比及び③燃料棒最大線出力密度については、毎週火曜日に直前の月曜日から日曜日までの測定結果を提供する。ただし、出力変動や制御棒操作等がある場合は、その一連の操作終了後まとめて翌日に、調整運転期間中は、毎日前日の測定結果を提供する。④燃料集合体最高燃焼度については、次回定期事業者検査のための運転停止後速やかにその結果を提供する。

※ 原案及び4項目の意味については、配付資料「MOX燃料使用での安全監視状況の情報提供について(案)」参照。

(3) その他

【今後の日程案】

平成22年9月17日 プロジェクトチームによる3号機の原子炉起動時の現地確認
(9月17日21時～18日4時の予定)



プロジェクトチーム会議の状況

平成22年度第2回
福島第一原子力発電所3号機におけるプルサーマル実施に係る
安全確認のためのプロジェクトチーム会議
配付資料一覧

- ・ プロジェクトチーム会議次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 福島第一原子力発電所 3号機 平成22年度（第24回）定期事業者検査の実施状況について
- ・ MOX燃料使用での安全監視状況の情報提供について(案)

※ 配付資料一覧（当該内容）及び座席表については、掲載を省略しています。